

羽幌町役場地球温暖化対策実行計画の点検・評価について

羽幌町役場は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、平成26年度に策定した「第2次羽幌町役場地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいます。

上記計画第4章2に基づき点検を実施し、平成19年度（基準年度）と平成28年度の温室効果ガス排出量（CO₂）を比較したところ、次の結果となりました。

1 結果

	H19年度(基準年度)	H28年度	増減量	増減率
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	3,225,374	2,867,028	△ 358,346	-11.11%

温室効果ガス排出量（CO₂）は基準年度と比較し、11.11%の削減となりました。

※増減については基準年度と平成28年度を比較したのになります。

2 点検

(1) 温室効果ガス別点検

【温室効果ガス別CO₂排出量表】

	H19年度(基準年度)		H27年度		H28年度		増減量		増減率
	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	
ガソリン	16,587 ㍑	38,482	17,682 ㍑	41,022	18,014 ㍑	41,792	1,427 ㍑	3,311	8.60%
軽油	15,128 ㍑	39,030	10,139 ㍑	26,159	10,288 ㍑	26,543	△ 4,840 ㍑	△ 12,487	-31.99%
灯油	202,669 ㍑	504,646	221,120 ㍑	550,589	208,065 ㍑	518,082	5,396 ㍑	13,436	2.66%
A重油	161,700 ㍑	438,207	97,838 ㍑	265,141	95,130 ㍑	257,802	△ 66,570 ㍑	△ 180,405	-41.17%
LPガス	2,148.4 m ³	14,072	1,462.4 m ³	9,579	1,488.3 m ³	9,749	△ 660.1 m ³	△ 4,324	-30.73%
電気	3,184,502 Kwh	2,190,937	2,681,472 Kwh	1,844,853	2,925,959 Kwh	2,013,060	△ 258,543 Kwh	△ 177,878	-8.12%
合計		3,225,374		2,737,343		2,867,028		△ 358,346	-11.11%

ガソリン及び灯油は、機器の更新などによる使用燃料の変更により使用料が増加していますが、軽油、A重油、LPガス、電気は様々な取り組みにより削減できています。特に電気については、平成24年度に策定して夏季・冬期節電計画及びそれぞれに準じた節電への取り組み、更には照明設備の一部LED化や白熱灯からナトリウム灯へ変更したことによりに電気使用料を削減することができました。

※増減については基準年度と平成28年度を比較したのになります。

(2) 課別点検

【課別CO₂排出量表】

	H19年度 (基準年度)	H27年度	H28年度	増減量 CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	増減率
	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)		
総務課	287,251	275,742	271,192	△ 16,059	-5.59%
財務課	1,872	0	0	△ 1,872	-100.00%
町民課	541,091	394,480	123,903	△ 417,188	-77.10%
福祉課+ 健康支援課	152,168	121,652	47,654	△ 28,856	-18.96%
			75,658		
建設課+ 上下水道課	868,949	764,231	349,848	262,300	30.19%
			781,401		
農林水産課	25,581	11,011	11,384	△ 14,198	-55.50%
商工観光課	118,251	73,601	77,903	△ 40,348	-34.12%
学校管理課	832,586	741,301	780,690	△ 51,896	-6.23%
社会教育課	357,060	302,662	297,361	△ 59,700	-16.72%
天売支所	22,455	28,232	29,260	6,805	30.31%
焼尻支所	18,111	24,431	20,774	2,663	14.71%
合計	3,225,374	2,737,343	2,867,028	△ 358,346	-11.11%

離島地区は電気使用量の増加に伴い温室効果ガス排出量が増加しております。平成28年度より、町民課管理の街灯が一部建設課に移行したことにより温室効果ガス排出量の変動がりましたが、その他については年々削減が進んでおります。

※増減については基準年度と平成28年度を比較したのになります。

3 評価

平成28年度の温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して11.11%削減という結果となり、昨年引続き目標を達成することができましたが、平成27年度と比較すると4.74%増加しています。主な要因として、し尿処理施設の新設による電気料の増加が考えられます。

平成29年度以降につきましても、引き続き職員1人ひとりが節電を心掛け、目標達成が継続できるように各公共施設における温室効果ガス排出の抑制に努めていきます。